

【決議】改めて米軍辺野古新基地建設の全面中止・原状回復を求める

日本政府は、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設を強行してきた。菅義偉首相も工事推進を表明した。

沖縄防衛局による公有水面埋立承認の出願と仲井眞弘多沖縄県知事(当時)による承認(2013年)以降、国政選挙でも県知事選挙・県議会議員選挙でも、新基地建設反対の沖縄県民の意思が繰り返し示されてきた。2018年には「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票」が実施され、埋め立てに「反対」が投票総数の71.7%を占めた。このように、沖縄県民の意思は一貫して明確である。こうした民意を受け、2015年に翁長雄志知事(当時)は公有水面埋立承認取消処分を発し、2018年には故翁長知事の遺志を受けて公有水面埋立撤回処分が発出された。玉城デニー知事も、工事の即時中止を訴えつつ、日本政府に対話を求めてきた。

ところが、日本政府は、沖縄県民の意思を一顧だにせず、辺野古新基地建設を強行してきた。2017年には、沖縄県漁業調整規則に基づく知事の岩礁破碎許可をとることなく工事を強行した。埋立区域には、本来投入してはならないはずの赤土を含む土砂を投入するとともに、沖縄県の山岳を掘り崩して埋立土砂を調達するなどの自然破壊を続けている。2020年には、沖縄防衛局が県知事に対して行った造礁サンゴ類特別採補許可申請について、農林水産大臣が、許可処分をするように知事に対して是正の指示をした。

これに対して沖縄県は、その時どきに法的に可能な対応を行ってきた。そもそも、県土の周辺海域の自然環境を保護するのは、知事に委ねられた法律上の権限であり責任である。国が公共事業のために公有水面の埋立てを計画する場合にも、その承認権限はその地を所管する知事に委ねられている。また、漁業法や水産資源保護法に基づいて都道府県が漁業調整規則を制定して海面や海底等の違法な形質変更を取り締まるのも、法律に基づく知事の権限と責任である。これらの権限は、国と「対等・協力」の関係において都道府県知事が行使するものとされ、そこで国は必要最小限度を越えて介入・干渉してはならない。このように、地方公共団体には日本国憲法および地方自治法に基づいて団体自治権が保障されている。

しかし、政府は沖縄県知事の再三の処分や指導に従わず、沖縄防衛局という国の機関が私人になりすまし、県の対応を所管大臣がことごとくはねつけるなど、工事強行のために無法な手段の限りをつくしてきた。残念なことに、裁判所もまた、憲法の保障する地方自治を軽視し、沖縄県の請求をしりぞけ続けた。その手法として、裁判所が憲法よりも日米安保を重視する解釈を展開したり、沖縄防衛局を「一般私人と本質的に異なる立場」と認めたりしたことは、批判を免れない。こうして、地域の自然環境の破壊とともに日本の地方自治・法治主義そのものが破壊されてきたのである。

そして去る4月21日、事業者である沖縄防衛局は工事の設計概要等の変更承認申請書を沖縄県知事に提出し、沖縄県はその審査を進めている。この申請書には、(1)改良が必要な軟弱地盤についての具体的記述がない、(2)地盤改良工事の詳細も示されていない、(3)軟弱地盤の分布深度と地盤改良を行う深度の不一致について説明がない、(4)護岸完成前に土砂投入を先行する無理な工法をとっている、(5)莫大量の埋立土砂を沖縄県内の全域から調達するように変更している、(6)その土砂の採取・運搬に伴う環境影響対策は業者まかせで、事業者として説明していない、(7)自然度の極めて高い狭隘な浅海域に多数の作業船が同時に入って高密度に操業する、(8)耐震設計の不備・地震による護岸崩落の可能性・活断層の存在可能性等の無視などの専門家の指摘事項に答えていないなど、数々の決定的な問題点があり、事業としての破綻は明らかである。

そもそも防衛省は2019年に、新基地建設の工期を12年、9300億円と修正した。国民の生命・財産・生活を守り、また国土を保全すべき日本政府にとって、感染症対策、災害対策、温室効果ガス対策などの喫緊の重大課題がある。政府はそれらに注力すべきところ、辺野古埋立に国費を優先して投じることは重大な誤りである。しかも、工事を完了できるか確かでなく、運用開始まで長期に普天間基地を使い続けて住民を危険にさらし、完成すれば無期限に沖縄を基地の島として軍事強化を続けていくことになるが、それは民意に全く反している。

日本科学者会議は改めて、政府が沖縄県への不当な圧迫をやめ、普天間基地を即時・無条件に撤去し、辺野古新基地建設を全面中止して埋立地の原状を回復するよう求める。自然科学と人文・社会科学の専門的知見が関わるこの問題を目の前にして、私たちは総力を挙げて、沖縄県民、沖縄県、国内外の市民・科学者と手をたずさえて、この課題にとりくみ、解決を模索する。